



市議会全員協議会（報告事項）

【令和6年3月21日】

桑名市上下水道事業経営戦略 の改定について

上下水道部



1. <u>経営戦略策定及び改定の趣旨</u>	2
2. <u>水道事業</u>	4
3. <u>公共下水道事業</u>	10
4. <u>農業集落排水事業</u>	15
5. <u>効率化・経営健全化の取組み</u>	20



1. 経営戦略策定及び改定の趣旨



- ◆ 様々な環境の変化に対応しつつ、持続的に水道事業・下水道事業を行っていくために、国の要請に基づき、水道事業、公共下水道事業(2016年)、農業集落排水事業(2017年)について、それぞれ10年間を計画期間とする経営戦略を策定した(2019年に見直し)

【今回の改定の趣旨】

水道事業

現経営戦略に明記されている料金改定の検証やそれ以降における料金改定の試算を行う必要がある

下水道事業

策定後も続く厳しい財政状況の中で使用料改定の必要性の検証を行う必要がある



そのため、計画期間は2024年度から2033年度までの10年間として、上記経営戦略の見直しを行うこととした



2. 水道事業

1 経営の基本方針 P.2



本物力こそ桑名力

- ◆ 総合計画における5つの必要な取り組み※を重視し、経営を推進していくこととする
とともに、各事業における経営の基本方針を以下のとおり設定した

※総合計画における必要な取り組み

- 効率的で持続可能な上下水道事業経営の推進
- 上下水道施設の長寿命化の推進
- 安全・安心な水道水の確保と供給
- 安全・安心な生活基盤の提供
- 災害に強い上下水道の推進

水道事業の経営方針

「桑名市新水道ビジョン」(2024年3月策定、計画期間2024～2033年度)において、目標として掲げている以下のような水道の実現を目指す

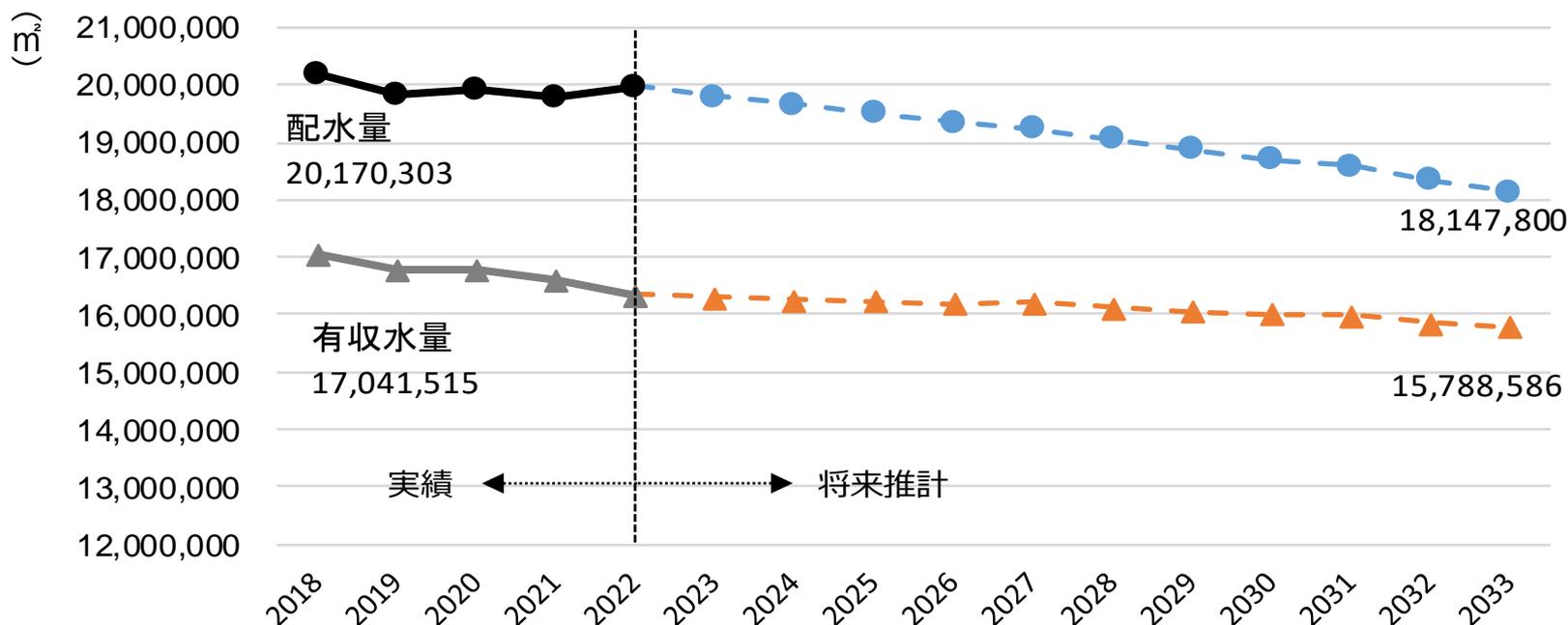
- ・ 合理的な対価をもって持続的に受け取ることが可能な水道
- ・ 水質が良好で十分な水量を受けることができる水道
- ・ 災害による被害を最小限にとどめ、速やかに復旧できる水道

2 現状と課題 P.4～P.29

① 水道事業の現状(1)

- ◆ 有収水量は、人口減少に伴い減少が続いており、今後も減少傾向が続く見通し
- ◆ その結果、給水収益も現行の料金体系を維持した場合、緩やかに減少していく見通し

<配水量・有収水量の推移>



2 現状と課題 P.4～P.29

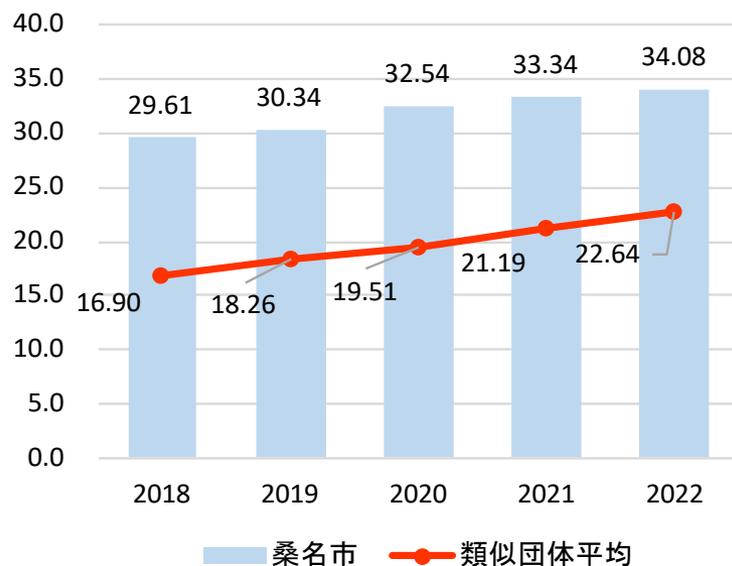


本物力こそ桑名力

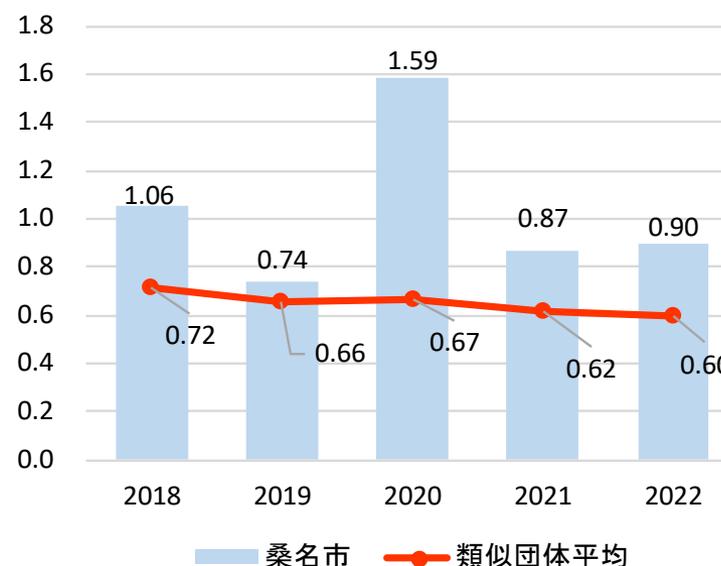
① 水道事業の現状(2)

◆ 管路更新については管路経年化率が悪化していることから、更新のスピードが老朽化の進行に追いついていない。

② - 2 管路経年化率 (%)



② - 3 管路更新率 (%)



2 現状と課題 P.4～P.29



② 水道事業の現状(3)

【他団体と比較した経営状況】

- ◆ 経常収支比率が類似団体を下回っており、**経営状況は厳しい状態**
- ◆ 企業債残高対給水収益比率は、近年の更新投資の実施等により増加傾向
- ◆ 有形固定資産減価償却率・管路経年化率は、類似団体平均を大きく上回る水準となっており、**類似団体と比較し施設及び管路の老朽化が進んでいる状態**

③ 水道事業の課題

- 持続的な水道事業の運営に向けた建設改良投資の実施
- 橋梁工事・下水道拡張事業に合わせた水道工事費の確保
- 水道施設・管路の安定的な維持管理に向けた費用の確保
- 有収率の改善の取り組み
- 事業実施に必要な技術力の確保
- 収支の均衡を実現する財源の確保

3 投資・財政計画 P.30～P.49

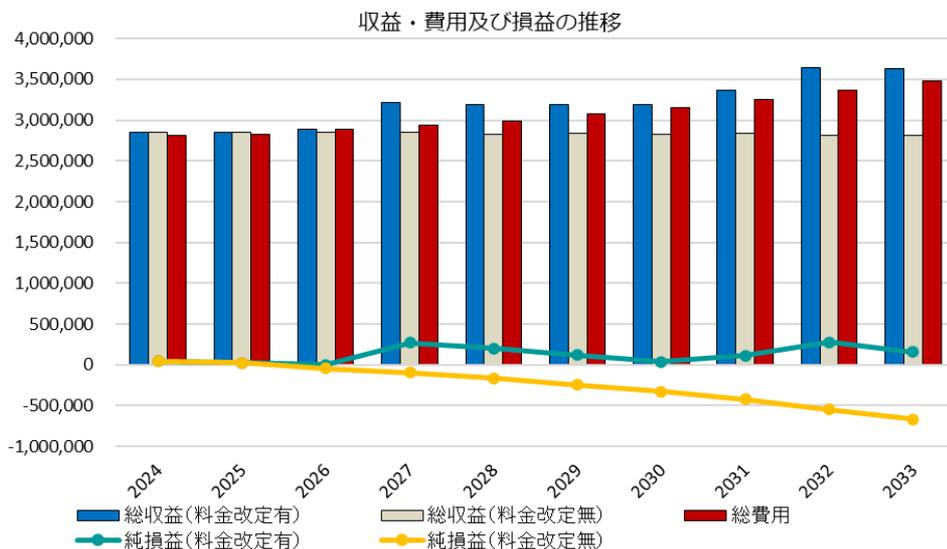


本物力こそ桑名力

- ◆ 施設・管路の維持管理や投資事業のための費用は膨らむことから、現行水道料金水準を据え置く場合、損益は悪化し、2026年度以降赤字転落し、剰余金も2027年度に枯渇。
- ◆ よって本計画では、**2026年度に料金改定率15%、2031年度に料金改定率17%の料金改定を仮定している。**(実際の料金改定の際は、再度検証を行う。)

投資目標 有収率:2022年度:81.8%⇒2033年度:87.0%
 管路更新率:1%以上
 このほか施設・管路の整備・長寿命化投資、維持管理を着実に実施

財源目標 経常収支比率:100%以上
 累積欠損金比率:0%
 債務償還年数:30年以下
 料金回収率:100%以上





3. 公共下水道事業

1 経営の基本方針 P.2



本物力こそ桑名力

- ◆ 総合計画における5つの必要な取り組み※を重視し、経営を推進していくこととともに、各事業における経営の基本方針を以下のとおり設定した。

※総合計画における必要な取り組み

- 効率的で持続可能な上下水道事業経営の推進
- 上下水道施設の長寿命化の推進
- 安全・安心な水道水の確保と供給
- 安全・安心な生活基盤の提供
- 災害に強い上下水道の推進

公共下水道事業の経営方針

- 家庭や事業所・工場などから排出される汚水を処理して、公衆衛生の向上・公共用水域の水質保全に貢献するとともに、市街地における雨水を速やかに排除して浸水被害を防ぐ公共下水道事業の役割を将来にわたり持続的に履行していく
- 本市の下水道は普及途上にあり、未だ公共下水道事業による汚水処理の対象となっていない地区も多く残されていることから、本経営戦略期間内に下水道の普及も加速させることを目指す

2 現状と課題 P.4～P.29

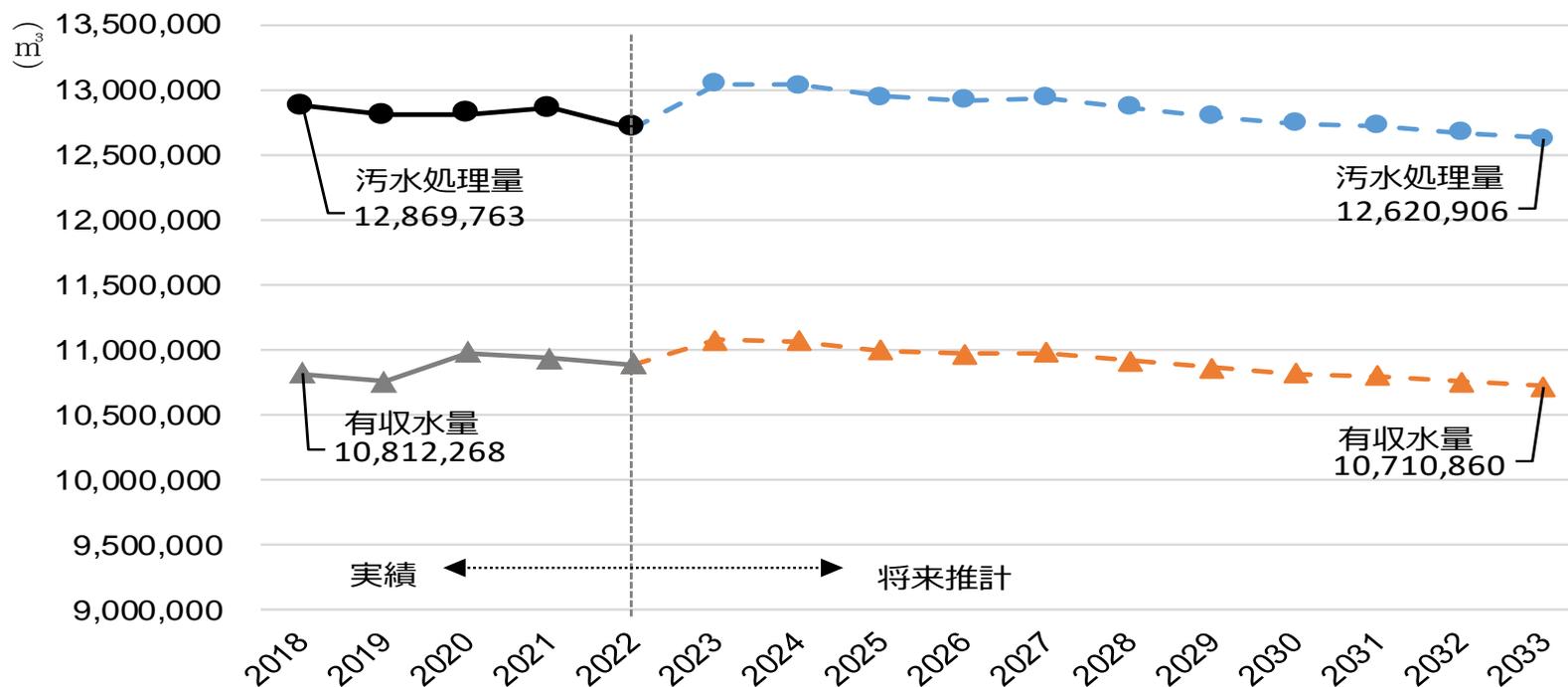


本物力こそ桑名力

①公共下水道事業の現状(1)

- ◆ 有収水量は、下水道整備を進めているが、人口減少の影響により、徐々に減少する見通し
- ◆ その結果、使用料収入も2023年度以降、徐々に減少する見通し

<汚水処理量・有収水量の推移>





② 公共下水道事業の現状(2)

【他団体と比較した経営状況】

- ◆ 汚水処理原価・経費回収率は、企業債支払利息の減少により改善傾向
- ◆ 短期的な支払能力を示す流動比率は類似団体を下回る状況
- ◆ 有形固定資産減価償却率・管渠老朽化率は、類似団体を下回るが、徐々に上昇

③ 公共下水道事業の課題

- 下水道の普及と更新・長寿命化に向けた建設改良投資の実施
- 下水道施設・管路の安定的な維持管理に向けた費用の確保
- 収支の均衡を実現する財源の確保
- 安定的な事業運営に向けた流動資産の確保

3 投資・財政計画 P.30～P.49



本物力こそ桑名力

- ◆ 下水道使用料は、下水道整備区域の拡大により水洗化率の上昇を見込むものの、**全体としては水洗化人口の減少により徐々に減少していくことを見込んでいる。**
- ◆ 過去に借入した企業債の償還による減少が大きいことから、企業債元金残高は全体としては計画期間内に減少を続け、**財政状態は改善に向かうと見込まれる。**

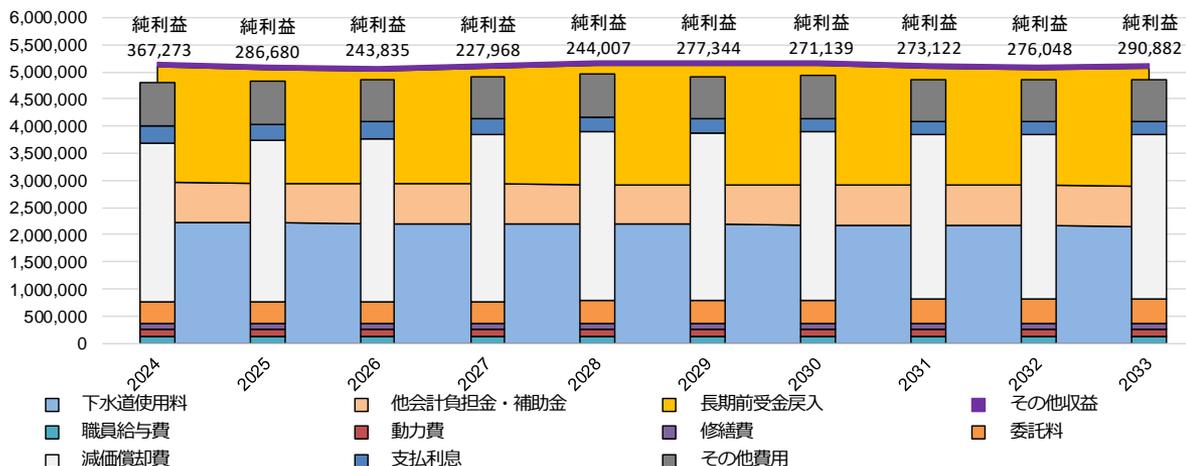
投資目標

下水道普及率：2022年度：80.7%⇒2033年度約91%
このほか施設・管路の整備・長寿命化投資、維持管理を着実に実施

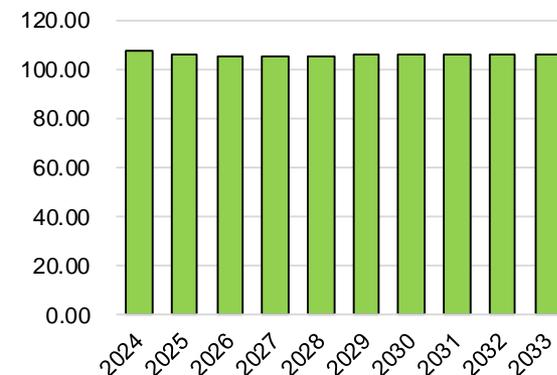
財源目標

経常収支比率：2022年度：111.8%⇒2028年度：100%以上⇒2033年度：100%以上
累積欠損金比率：2022年度：0%⇒2028年度：0%⇒2033年度：0%
債務償還年数：2022年度：18.5年⇒2028年度：20年以下⇒2033年度：20年以下
経費回収率：2022年度：119.9%⇒2028年度：100%以上⇒2033年度：100%以上

収益・費用・損益の推移



経常収支比率 (%)





4. 農業集落排水事業

1 経営の基本方針 P.2



本物力こそ桑名力

- ◆ 総合計画における5つの必要な取り組み※を重視し、経営を推進していくこととともに、各事業における経営の基本方針を以下のとおり設定した。

※総合計画における必要な取り組み

- 効率的で持続可能な上下水道事業経営の推進
- 上下水道施設の長寿命化の推進
- 安全・安心な水道水の確保と供給
- 安全・安心な生活基盤の提供
- 災害に強い上下水道の推進

農業集落排水事業の経営方針

- 農業用排水の水質保全、同施設の機能維持及び農村生活環境の改善を図るとともに、農業集落における、し尿・生活雑排水等の汚水を適切に処理することにより、生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成及び循環型社会を構築し、農業集落排水事業の役割を将来にわたり持続的に履行していく
- 事業環境を踏まえて、普及途上にある公共下水道事業への接続替えなどの施設の統廃合も視野に入れ、投資の効率化、維持管理費の節減等の経営改善に努めていく

2 現状と課題 P.4～P.29

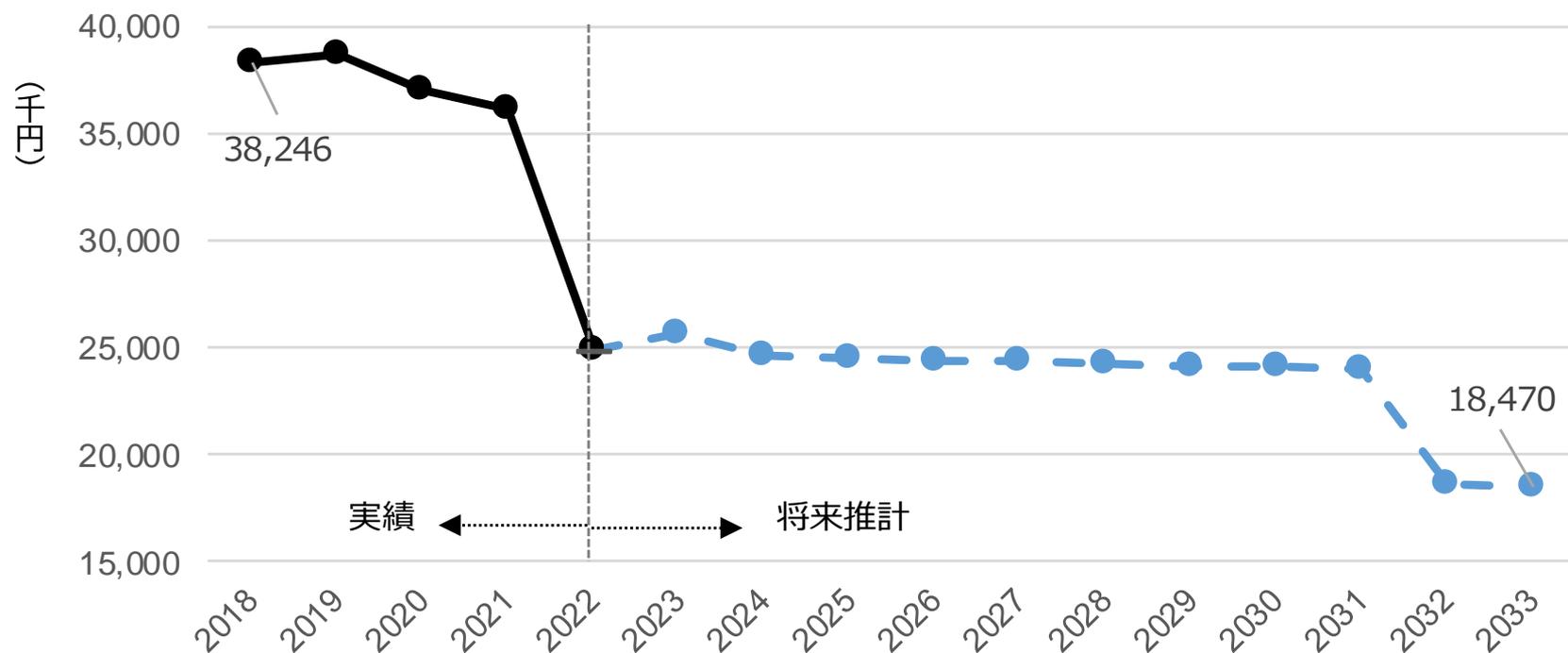


本物力こそ桑名力

① 農業集落排水事業の現状(1)

◆ 使用料収入は、水洗化人口の減少に伴う減少のほか、一部処理区の公共下水道への接続替えにより、さらなる減少の見通し

<使用料収入の推移>



2 現状と課題 P.4～P.29



本物力こそ桑名力

② 農業集落排水事業の現状(2)

【他団体と比較した経営状況】

- ◆ 収益的収支比率・経費回収率が多度北処理区の公共下水道への接続替えを実施した後は、下降に転じている
- ◆ 施設利用率は、緩やかに下降しており、類似団体平均よりも低い水準

③ 農業集落排水事業の課題

- 更新・長寿命化及び公共下水道への接続替えに向けた建設改良投資の実施
- 施設・管路の安定的な維持管理に向けた費用の確保
- 収支の均衡を実現する財源の確保

3 投資・財政計画 P.30～P.49



本物力こそ桑名力

- ◆ 使用料収入が区域内人口の減少、公共下水道への接続替えに応じて減少するなか、収益的収支の不足額を補う額の他会計補助金を見込んでいる。
- ◆ 処理場整備事業、管路施設整備事業を進めるとともに、計画期間の後半には嘉例川地区の公共下水道への接続替えを見込んでいる。

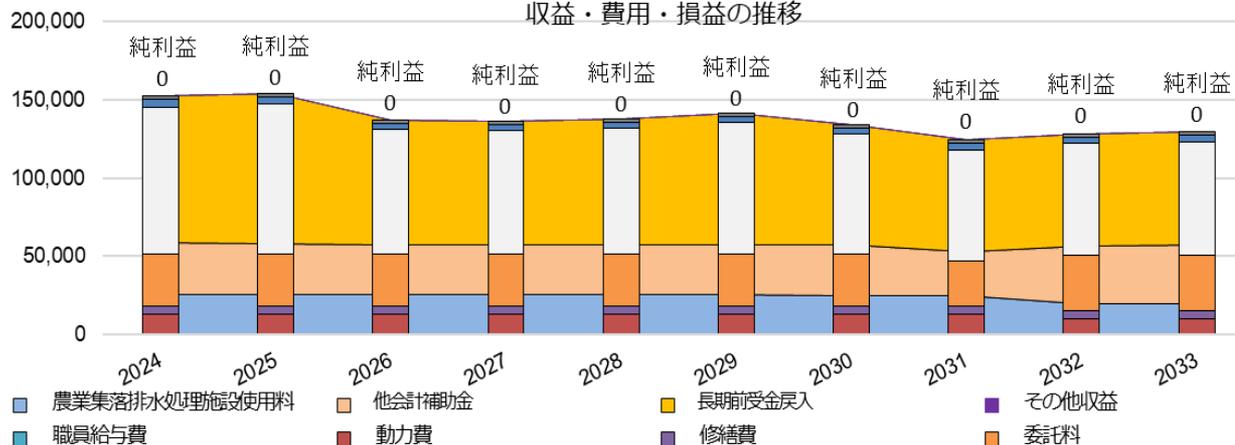
投資目標

施設・管路の整備・長寿命化投資、維持管理、公共下水道への接続替えを着実に実施

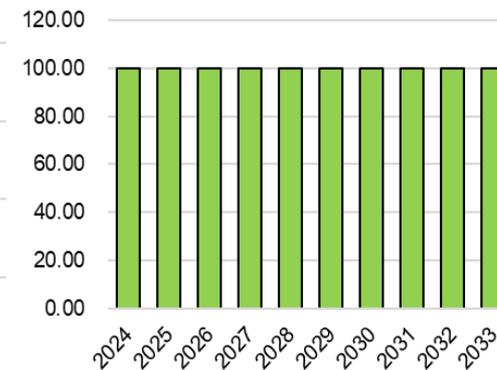
財源目標

他会計補助金合計額：下水道接続替えに伴い、使用料収入は減少するが、可能な限り抑制に努める

収益・費用・損益の推移



経常収支比率 (%)





5. 効率化・経営健全化の取組み



組織、人員、定員、給与に関する事項

効率的な組織の整備・定員管理の推進	機構改革等に柔軟に対応し、業務の効率化・民間委託等の活用等を通じてさらに効率的な組織運営を実現
人材の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> 設計・発注・現場管理を通じた若手職員への指導育成 更新需要の増加に対応するための必要人員の構成(民間活用含む)の検討・確保の取組
人事管理・退職管理	桑名市職員人事評価実施要綱に即した人事評価を推進し、あわせて退職管理の適正を確保

広域化、民間の資金・ノウハウの活用に関する事項

広域化の検討	「三重県水道広域化推進プラン」及び「三重県汚水処理事業広域化・共同化計画」に基づく県内他団体との広域化の段階的な実現可能性の検討
民間の資金・ノウハウの活用	<ul style="list-style-type: none"> 他市出資会社等との連携を通じた技術、ノウハウの獲得等 管路、浄水施設の耐震化・更新事業における官民連携整備手法を活用 民間活力、ノウハウの活用による効率的な経営の実現可能性の検討

その他の経営基盤に関する事項等

- ◆ 企業環境の整備
- ◆ 新たな技術の活用(ICT・省エネ等)
- ◆ 入札手続の適正化
- ◆ 資産の有効活用等
- ◆ 防災対策の充実、危機管理等の体制整備